優勝狙い 練習に汗

テコンドー世界選手権

四日市の稲垣さん、津の清水さん

イタリアのベネチアで二十七～三十一日に開かれる国際テコンドー連盟（ITF）の世界選手権に、四日市市中納屋町の稲垣吉将さん(二四)と、津市一志町高野の清水有紗さん(二六)が出場する。上位を狙い、練習を重ねている。（下泉亮一）

二人はともに会社員で、「三重テコンドークラブ」に所属。クラブは二〇〇七年、四日市に開設され、四日市で週二回、津で週一回、練習会を開いている。

世界選手権は二年に一度開催され、今回で十九回目。競技は選手同士が接触する「組み手」と、動きの正確さや美しさを競う「型」がある。

稲垣さんは組み手の63*以下級と型二段の部、清水さんは型初段の部にそれぞれ出場する。仕事の合間をぬって練習に励み、昨年十二月の全日本選手権で好成績を収め、代表の座をつかんだ。県内からITFの世界選手権に出場するのは初めてという。

稲垣さんは岐阜市出身。高校二年のとき、テコンドーの蹴り技の豪快さと華麗さにひかれ、同市内の道場に通い始めた。世界選手権には、就職を機に四日市に移る前の前回大会にも出場している。前回は初戦で敗退しており、「出るからには当然、優勝を目指す」と雪辱を期す。

清水さんは十九歳で始め、世界選手権は初めて。「自分の型をしっかりと貫いてメダルを取りたい」と意気込んでいる。

世界選手権に出場する稲垣吉将さんと清水有紗さん＝四日市市文化会館で